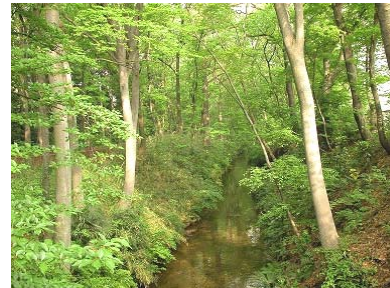




『新こだいら音頭』 全歌詞の紹介

平成24年度の市制施行50周年を記念して制作された『新こだいら音頭』。1番から5番の歌詞には、小平の名所や季節の移り変わりが綴られ、情景が目浮かぶよう。市民の加藤元宣(かとうもとりのり)さんが作詞しました。

1 芽吹く緑が 水面に揺れる
玉川上水の 木陰を行けば
早春(はる)の野風が心地よい ソレ 心地よい
素敵な街です 小平 よいよいよいところ
今度遊びに 来ませんか ソレ 来ませんか



玉川上水

羽村堰から四谷大木戸まで開削した約43kmの江戸府内への上水道。深い緑陰に覆われた沿道は絶好の散歩道

小平グリーンロードの様

季節には遊歩道をピンクのアーケードで飾る。満開の桜はもちろんだが、散り際も見事



2 おぼろ月夜の 彫刻の小径(みち)
桜並木を 行き交うひとの
肩にひとひら 花が舞う ソレ 花が舞う
みんなの街です 小平 よいよいよいところ
学園文化 咲き誇る ソレ 咲き誇る



九道の辻

その昔、鎌倉街道、江戸街道など9本の道が交差していた。現在一帯は九道の辻公園として整備されている

3 小雨そぼ降る 九道(くどう)の辻で
街を彩る あじさいの花
淡い憧れ 咲かせてる ソレ 咲かせてる
夢見る街です 小平 よいよいよいところ
雨が上がれば 虹が出る ソレ 虹が出る



ブルーベリー

小平はブルーベリー栽培発祥の地。果物として生食でもおいしく、ジャムやケーキなどの加工品は、小平の名産品となっている

4 けやきの梢(こずえ)で コゲラが鳴けば
空の碧さを 映して染まる
ブルーベリーは 実り頃 ソレ 実り頃
豊かな街です 小平 よいよいよいところ
灯りまつりも にぎやかに ソレ にぎやかに

5 紅い椿が 静かに咲いた
季節外れの 小雪が積もる
ふるさと村の 丸ポスト ソレ 丸ポスト
楽しい街です 小平 よいよいよいところ
炉端話(ろばたばなし)に 花が咲く ソレ 花が咲く



丸いポスト

小平は丸いポストを大切にしている町。保有本数は36本と、都内の自治体の中で1位を誇る

資料：やっぱりこだいらが好き。第2号

(編集：こだいらふるさと冊子編集プロジェクト、発行：中央公民館)